

# めぐみイエス・キリスト教会

2021年5月16日(日) 第三主日「昇天」礼拝  
週報「通算第557号」



## 2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌435「罪に沈む汝が友に」 p. 702

【交読文】 No.7詩篇第23篇 p. 884

【賛美Ⅱ】 新聖歌416「聖霊来たれり1, 2, 5節」 p. 668

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.4「天には救いの喜び」

【聖書朗読】 使徒の働き1章8節～12節(新約p. 232下段)

【礼拝説教】 《主イエスの昇天》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ●ポイント1. 昇天の預言とは？

※ヨハネの福音書3章10節～15節「ニコデモへの言葉」(新約p.180)

3:10 イエスは答えられた。「あなたはイスラエルの教師なのに、そのことが分からないのですか。

3:11 まことに、まことに、あなたに言います。私たちは知っていることを話し、見たことを証ししているのに、あなたがたは私たちの証しを受け入れません。

3:12 私はあなたがたに地上のことを話しましたが、あなたがたは信じません。それなら、天上のことを話して、どうして信じるのでしょうか。

3:13 だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、人の子は別です。

3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。

3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

### ※ヨハネの福音書6章61節～62節「弟子たちへの言葉」(新約p.191)

6:61 しかしイエスは、弟子たちがこの話について、小声で文句を言っているのを知って、彼らに言われた。「私の話があなたがたをつまづかせるのか。

6:62 それなら、人の子がかつていたところに上るのを見たらどうなるのか。」

### ●ポイント2. 主イエスが昇天された場所とは？

#### ※ルカの福音書24章50節～51節「ベテニアの近くまで」(新約p.174)

24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。

24:51 そして、祝福しながら彼らから離れて行き、天に上げられた。

### ●ポイント3. 「私の証人となります」と言うこととは？

#### ※ゼカリヤ書14章4節「主の日と主の再臨の預言」(旧約p.1627)

14:4 その日、主の足はエルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山はその真ん中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ、残りの半分は南へ移る。

#### ※イザヤ書43章10節～11節「イザヤへの主の言葉」(旧約p.1238)

43:10 あなたがたは私の証人、(主の言葉)、私が選んだ私のしもべである。これは、あなたがたが知って、私を信じ、私がその者であることを悟るためだ。私より前に造られた神はなく、私より後にも、それはいない。

43:11 私、この私が主であり、ほかに救い主はいない。

## ◎先週のメッセージの概要【この人はどうなのですか】

《「私の羊を飼いなさい」と、主イエスは新しい任務をペテロに与えます。そして「あなたは年をとると、両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、望まない所に連れて行きます」と、新たな預言をなされます。

これは、やがてペテロが十字架刑によって殉教することを意味しています。彼はその真意を知ったのです。この時、主イエスとペテロは、横に並んで歩いていました。すると、後ろからヨハネがついて来るのが分かったのです。そこでペテロは質問します。「主よ、この人はどうなのですか」と。現代訳は、「この人の最後はどうなるのですか」と、なっています。

以前ピリポ・カイサリアにおいて、ペテロがメシア告白する場面がありました。その時、主は「ここに立っている人たちの中には、人の子が御国と共に来るのを見るまで、決して死を味わわない人たちがいます。」と預言されたのです。この言葉が、ヨハネが誤解された伏線になっています。それ故「それで、その弟子は死なないという話が広まった」のです。

やがて数十年が過ぎ、長老ヨハネが、主イエスの最後の生き証人となった時、エペソ教会の弟子たちから福音書を執筆することを要望され、二世紀前後に完成したわけです。おそらくこの時点においても、まだヨハネに対する誤解があった故、この21章が加えられたと思われるのです。

さて、ペテロが「この人はどうなのですか」と質問した、その真意は分かりません。主の答えは、「私が来るときまで彼が生きるように、私が望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか」と言うことでした。

これは、主イエスとの関係は、あくまで個人的な関係であると言うことです。この世界において、あなたと言う存在、私と言う存在は唯一無比な存在です。みな違います。そしてその違いを、主は丸ごとすべてを受け入れて下さり、また、愛し、慈しんで下さるのです。私たちは、キリストのからだであって、それぞれが皆、主の一部分なのです。そして、私たちがすべきことは一つ、主に従うことです。「あなたは、私に従いなさい」と。》

## ◎お知らせ

※次回ペンテコステ礼拝は5月23日(日)教会にて通常通り行ないます。聖書勉強会・祈り会は5月19日(水)各家庭にて行ないます。